

論点を絞る

発展的な問い

結論を出す

日本生活科・総合的学習教育学会
第32回全国大会 神奈川大会 2023年6月17日

論点を定めて議論する協働学習の 流れとポイント

(一財) ジャパンアートマイル
塩飽 隆子・塩飽 康正



➤ 変化が激しく予測が難しい時代

世界は

コロナで国と国の行き来が制限
ウクライナ戦争、中国の覇権、北朝鮮のミサイル
インドの人口が中国を抜いて世界一
インドネシアの若者の大国意識
AIが世界を変える？ ChatGPTの出現

日本は

人口減少、少子高齢社会
失われた30年、経済停滞、貧しい国ニッポン

これからの時代を「生きる力」とは？



ChatGPT
少子高齢化
貧国ニッポン

➤ これからの時代を「生きる力」

1. 自分の頭で考え、判断し、行動する力
2. 背景が異なる人と議論する力
3. 多様な人と協働して新たな価値を創る力

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

主体的・対話的な深い学びで、「生きる力」を育てる

➤ 主体的・対話的な学びが 深い学びになっているか？

1. 本当に主体的な学びになっているか？
本当に自分の頭で考えているか？ 情報をうのみにしていないか？
これまでのように一つの正解を探していないか？
2. 本当に対話的な学びになっているか？
ちゃんと相手と対話しているか？ 言いつ放しになっていないか？
発展的な問いを立てて議論ができているか？
結論を出しているか？
3. 本当に深い学びになっているか？
思考が深まっているか？ 思考が広がっているか？
自己の変容が起きているか？

人は異質なものと出会ってものを考える
同質性・同調圧力の中で「批判的思考」は難しい



海外との協働学習を通して
主体的・対話的な学びを検証

➤ 国際協働学習の主体的・対話的な学び

「アートマイル国際協働学習プロジェクト」

日本の学校と海外のパートナー校が、インターネットで繋がり
社会の課題をテーマに、対話的に学び合う国際協働学習

背景が異なる相手と協働

学習テーマは、自分達の地域にも相手の国・地域にも共通する課題（SDGs）

1. 地域や自国が直面している課題について調べ学習
まとめたことを相手と共有し、グローバルな視点で考える

主体的に学ぶ

2. 背景が異なる相手と対話・議論する協働学習
課題をどう解決するか発展的に問いを立てて議論を繰り返す
世界の仲間とどう未来を一緒に創りたいのかを考えメッセージにする

対話 + 議論

3. 学習の成果を目に見える形でアウトプットする
相手と一緒に考え、議論を繰り返す中で生まれた想いを壁画という見える形で表現する

➤ 深い学びになるための課題

国際協働学習で浮かび上がった課題

1. 自分事にして考え、自分の言葉で伝えられていない
2. **新たな問いを立てて、発展的な議論ができない**
3. 相手がいるからこそ生まれる新たな価値を生み出せていない

背景が異なる相手との協働学習を深めることができるかどうかは
相手との発展的な議論にかかっている

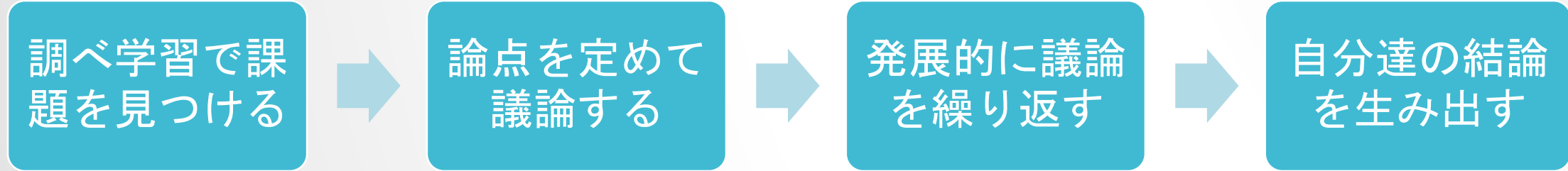
どうすれば良い議論ができるのか？
「論点を定めて議論する」

➤ 論点を定めて議論する協働学習とは

論点とは 相手と議論する際の「軸となる問い」
軸から外れないように論点を絞る

議論とは 相手とより良い結論を導くための話し合い
論点を明確にして話し合うことで議論が発展する

➤ 論点を定めて議論する協働学習 流れとポイント



調べ学習の目的は、現状を知って「課題」を見つけること

- ・現状はどうか？
- ・原因は何か？
- ・どういう課題があるのか？

インターネット・本・新聞・調査・インタビューなど複数の情報源で調べる

既に誰でも言っているような課題ではなく、自分事にして考えて自分達の視点で課題を見つける

論点を定めて議論する

見つけた課題の中から相手と一緒に解決を考えたい課題をいくつか絞る＝論点

- ・質問形式で論点を提示する



論点についての的を絞って意見交換する



意見交換の中で出てきた気付きや疑問を次の問い(論点)にして、さらに意見交換する

発展的に議論を繰り返す

議論の目的は自分達の解決策を見出すこと

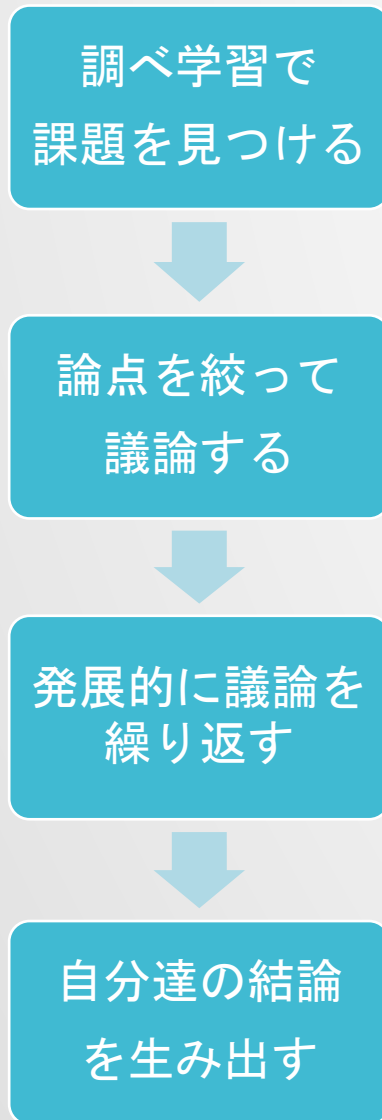
- ・問いを立てるときには到達点を意識して、そこに向かう問いを立てる
- ・ありきたりな解決策を並べるのではなく、発展的な議論を通して自分達ならではの解決策を考え出す

自分達の結論を生み出す

自分達は社会の課題を解決してどういう未来を創りたいのか相手と一緒に考える。

- ・議論を繰り返す中で自分達と相手と間に生まれた想いが、これまでどこにもなかった「新たな価値」

➤ 論点を定めて議論する協働学習 具体例



【テーマ】SDG13：気候変動に具体的な対策を

■調べ学習

- ・気候変動について、新聞、図書、市・県・国のサイト、環境団体のサイトで調べる
- ・グループに分かれて、地域の農業・漁業・林業に携わっている人に気候変動の影響について聞き取り調査

■課題を見つける

- ・地球温暖化がもたらす地域の課題・日本の課題(具体的に)

■相手と話したい論点①

- ・それぞれの国の地球温暖化の課題は何か？その原因は何か？
- ・原因を放置して温暖化が進むと世界はどうなるのか？

■相手と話したい論点②

- ・各国の政府や地域はどういう対策をしているのか？その効果は？
自国の対策 相手国の対策 他国の対策
- ・課題を解決するためにさらにどういふ対策が必要か？

■相手と話したい論点③

- ・私たちに何ができるのか？
自分が今実行したいこと／10年後に実行したいこと

■相手と話したい論点④

- ・私たちはどういふ未来を創りたいのか？

＜未来に向けたメッセージ＞

「環境問題の多くは私たち人間が作り出した問題です。私たち自身が考え方を
変え、行動を変える必要があります……」

➤ 論点を定めて議論する協働学習 学習者の変容



2022年度文部科学大臣賞受賞校
赤穂市立有年小学校 5年生

【学習テーマ】SDGs14 「海の豊かさを守ろう」
SDGs15 「陸の豊かさを守ろう」

【壁画題名】エコロジー社会を創ろう！
Let's create an ecological society !

■ 学習の成果（教師の言葉）

台湾との学習では、児童はこれまで意識したことがなかった地球規模の課題について積極的に調べ、自分達の考えを相手に伝えて活発に意見交換し、主体的で探究心に溢れた姿が見られました。調べた情報や相手から聞いた情報は、真実かどうかを常に考えて判断するようになりました。将来、社会により大きな影響を与える大人になるために勉強するのだと学習の意義を見出していました。

■ 学習者の変容（児童の言葉）



私たちは台湾の学校とSDGsの海の豊かさと陸の豊かさについて学習しました。森林は減っているのは知っていたけれど、こんなに急激に減っていることは知らなかったし、砂漠化の意味すら知りませんでした。魚が減少しているのはプラゴミのせいだと思っていたけれど、他に原因があることを知りました。台湾とは課題も取り組みも違うけれど、海と陸を豊かにする理想は同じなので、それぞれの課題に合った取り組みを1人ひとりがすることが大切だと思いました。SDGsは世界の問題だけど自分たちの生活に大きく関わることです。身近な人たちはそれを知らないので伝えていきたいです。伝えるときには、情報をまちがえないように気をつけたいです。批判的に物事を見て考えることをアートマイルで学んだからです。

➤ 子ども達にどういう資質・能力を付けて 未来に送り出すのか

変化が激しく、刻々と変化する時代を
子ども達が主体的に、幸せに生きていくために

- 考える力
- 議論する力
- 多様な他者と協働する力
- 新しいものを生み出す力

学校で、「生きる力」を育てて、未来に送り出して欲しい



ご静聴ありがとうございました

(連絡先) jam@artmile.jp
(URL) <http://artmile.jp>

